

大船渡市国土強靱化地域計画検討会議

会 議 名	大船渡市国土強靱化地域計画検討会議
日 時	令和8年1月22日（木） 午前10時00分～午前10時55分
場 所	大船渡市役所 地階大会議室
出 席 者	<p>【委員】 佐藤秀一委員、 寺澤敬行委員、 鈴木将委員、 石川美保子委員、 小野寺浩委員、 村上博文委員、 佐藤かおり委員、 畑中広江委員、 山蔭康明委員、 舘洞良明委員、 須賀芳也委員、 松澤和世委員、 佐々木好子委員、 今野響委員、 鈴木昭司委員 ※吉田健一委員、大田昌広委員は、所用のため欠席</p> <p>【市職員】 大船渡市長 淵上清、 教育長 小松伸也、 企画政策部長 松川伸一、 総務部長 新沼晶彦、 協働まちづくり部長 佐々木義和、 市民生活部長 安居清隆、 商工港湾部長 富澤武弥、 農林水産部長 山岸健悦郎、 都市整備部長 長岩智徳、 上下水道部長 今野稔、 企画調整課長 阿部貴俊、 防災管理室次長 伊藤晴喜、 消防署長 新沼晃、 こども家庭センター所長 川内利誉、 学校教育課長 佐藤和生、 議会事務局係長 菊地敦子</p> <p>【事務局】 企画調整課課長補佐 佐藤大基、 係長 志田拓也、 主任 後藤俊太、 主事 村上瑞貴、 主事 清水紀希</p>
会 議 内 容	
1	開会（企画政策部長）
2	委嘱状交付 企画政策部長より委員の紹介をした後、市長から、委員を代表して佐藤かおり委員に委嘱状を交付。
3	市長挨拶 市長は挨拶後、退席。
4	会長及び副会長選出 会長に鈴木将委員、副会長に小野寺浩委員を選出。 国土強靱化地域計画検討協議会設置要綱第5条の規定により、以降は、会長が議長となり進行。
5	報告 大船渡市国土強靱化地域計画に基づく重点施策の進捗状況について、資料1を用いて、事務局から説明。 【質疑等】 (須賀芳也委員) No. 37「港湾の耐震・耐津波強化」について「耐震強化岸壁」とはどのようなものか。

(商工港湾部長)

通常の岸壁よりも基礎段階から耐荷重等の強度を高め、災害時でも機能維持できるようにしたものである。物資や人員の輸送などの拠点として機能強化を目指している。

(鈴木昭司委員)

委員の任期が3月31日までとなっているが、会議は今回で終わりか。資料を見ながら意見を整理する機会はあるか。

また、委員構成について、岩手県建築士会気仙支部は、防災・減災の講習等を受けているので、今後、委員に入れた方がよいのではないか。

(企画調整課長)

会議は本日で終わりとする予定である。本日の会議で提案を承認いただく形で進めたい。

また、委員構成については、次期計画以降、いただいた意見を踏まえて検討したい。

6 協議

第2期大船渡市国土強靱化地域計画（案）について、資料2及び資料3を用いて、事務局から説明。

【質疑等】

(須賀芳也委員)

昨年2月の林野火災に関連し、燃えて炭化した木（危険木）が地震等で折れ、道路を塞ぐことを懸念している。道路が塞がれば救助活動の障害になるため、そうしたリスクも考慮して計画を進めていただきたい。

(農林水産部長)

個人所有の危険木については、所有者が伐採できるよう制度（補助上限90万円）を整え、実施している。次年度以降も引き続き対応したい。

(企画調整課長)

様々なリスクを想定し、通常業務を行っていく中で、強靱化を図っていく。

7 その他

(鈴木昭司委員)

リアス式海岸特有の地形により、災害時に集落が孤立する恐れがある。休耕田等を活用してヘリポートを整備できないか。

また、過去に事故の影響で、国道107号が通行止めになった際、迂回路に案内（看板等）がなく、使いづらく感じた。迂回路に案内（看板等）が必要ではないか。

(消防署長)

ドクターヘリは道路等でも着陸可能だが、消防ヘリは離着陸場が定められている。あらゆる手段を検討し、調整していく。

(都市整備部長)

107号の迂回路としては三陸沿岸道路を利用し、陸前高田市を經由して、住田方面へ行くルートが主となり、地域内の細かい道路への看板設置等は考えていない。

(小野寺浩副会長)

ここ数年、枯れ松などの倒木が電線にかかり停電するケースが多い。幹線道路沿いの危険木の把握と対策をお願いしたい。

(都市整備部長)

民地以外の道路区域内の危険木の伐採は岩手県及び市で進めている。民地にある木については所有者に検討をお願いしている状況である。

(事務局)

今後のスケジュールについて、2月に市議会に報告後、パブリックコメントを実施し、本計画の策定となる。

8 閉会（企画政策部長）